

平成29年3月議会 宇都宮市議会定例会報告

代表質問
一問一答方式

今井 恭男

質問項目

- 1 市長選挙における公開討論会等の開催時期と公職選挙法について
- 2 LRT導入計画に対する広報・市民説明の諸課題について
 - ・東西区間の全体費用について
 - ・LRT導入後に大通りを通すバス路線や本数について
 - ・市街地開発組合基金の活用について
 - ・バスとLRTの乗り継ぎ運賃について
- 3 LRTの財務会計のあり方について
- 4 LRT着工計画再開の判断基準について

宇都宮市・芳賀町が計画しているLRTの導入について、市民理解促進として市が発行した広報ピラ等は、「市民の疑問に答えられる内容か」等を中心とした質問で臨んだ。

質問及び答弁（抜粋）

2 LRT導入計画に対する広報・市民説明の諸課題について

・東西区間の全体費用について

Q 宇都宮市が発行した広報紙、新聞1面、折り込みピラは、誤った情報を正す内容には成り得ていない。「1000億円以上かかるの？ いえかかりません、458億円です。」の内容は、東側だけの費用であり全体費用ではない。西側区間を含めた全体費用を明示することが、市民の素朴な疑問に答えることになる。明確な情報を提示できるか。

A JR宇都宮駅東側のLRTルート15kmは認定(458億円)されたが、西側ルートは桜通り十文字から更なる延伸を含めて検討中であり、新年度に事業概要をまとめ概算事業費を算出し示していく(東西全体事業費は現段階では提示不可)。

3 LRTの財務会計のあり方について

Q LRT事業に関わる財務会計は透明性・経済性・持続性の観点から、地方公営企業法に定められている法定事業である「軌道事業」の法に

則り、特別会計に基づく企業会計を設置すべきである。

A 本市のLRT事業は上下分離方式で一般会計予算において、道路や橋梁などと同様に公共事業として整備・維持管理を行い、宇都宮ライトレール(株)からは施設使用料を受受するもので、地方公営企業法に基づく特別会計の設置は必要ない。

4 LRT着工計画再開の判断基準について

Q 県・国へのLRT着工に関わる手続きは、市民はもちろん地権者の理解と合意をないがしろにしてはならない。市民理解・合意が最大限優先されるべきで、市民理解の判断をどのような手法と手続きを持って決定するのか。

A 工事施工認可の申請は、全線新設のため見込みより時間を要している。関係機関と協議・調整を進めながら、必要となる資料の作成や内容の精査が整い次第申請を行う。市民理解については、事業に関する正確な情報をさまざまな媒体を活用した情報の発信、双方向の意見交換を積極的に開催する。新年度にはLRT推進室内に「協働広報室」を設置し、市民や企業等と連携・協働した広報活動を推進していく。

私たちは皆様の声を市政に活かします!!

一般質問
一括質問方式

小平 美智雄

質問項目

- 1 LRTについて
 - 1) 市民理解の促進について
 - 2) 宇都宮ライトレール株式会社への資金計画について
 - 3) JR宇都宮駅西側における導入課題検討調査について
 - 4) 交通ICカード及びQR乗車券の障がい者利用について
- 2 防災・減災対策について
 - 1) 木造住宅の耐震化について
 - 2) 災害発生時における支援物資の輸送・管理について
 - 3) 溢水被害対策の推進について
- 3 切れ目のない子育て支援について
 - 1) 切れ目のない子育て支援について
 - 2) 待機児童ゼロの実現について
 - 3) 産後ケア事業の実施について
- 4 軽度・中等度難聴児への支援について
- 5 本社機能の立地促進について
- 6 教育行政について
 - 1) 少人数学級の拡大について
 - 2) 英語の教科化に向けた取り組みについて
 - 3) 教員の児童・生徒と向き合う時間の確保について

質問及び答弁（抜粋）

6 教育行政について

1) 少人数学級の拡大について

Q 新年度からの小学校第3学年への35人学級拡大に伴う本市の増加学級数見込みと対応をどのように取り組むのか伺う。また、習熟度別学習の指導助手等、本市独自の取り組みに関する対応をどのように検討しているのか伺う。

A 市全体で12学級の増加を見込み、必要な普通教室は余剰教室等の改修により確保した。また、新たに必要となる教員については、県はこれまで習熟度別学習等で本市に配置していた教員を6名程度削減し、学級増分に充てており、学習指導上必要であるため、削減された分についてはこれまで通りの指導が継続出来るよう市独自の指導助手を配置する。

2) 英語の教科化に向けた取り組みについて

Q 次期学習指導要領では小学生への英語の教科化が示されているが、教科化に向けた取り組みや、授業時間の増加に伴うカリキュラムの見直しなどをどのように行い、対応を図るのか伺う。

A 小学校英語が教科化されることにより、指導内容に「読む・書く」が新たに加わるとともに、評価が他の教科と同様の方法に変わるため、英語指導力の向上を図るためのリーダー教員研修や、英語の免許を持つ小学校教員を授業選任として活用する方法を検討しており、さらにALT*8名の増員を新年度予算に計上した。また、3～6学年では授業が週あたり1単位時間増え、時間の確保が課題となること

から、通常45分間の授業時間を15分ずつに分けたり、45分に15分を加えて60分授業とするなどの弾力的な方法や、本市独自に加えている授業時数の在り方、土曜日や夏期休業の活用等を検討し、モデルとなる効果的な時間割編成例を各学校に示していく。

*ALT(外国語指導助手 Assistant Language Teacherの略=外国人の英語指導助手)

3) 教員の児童生徒と向き合う時間の確保について

Q 本市が進めている「児童生徒と向き合う時間の充実に向けたアクションプラン」はH28年度が最終年度となるが、教員事務の負担軽減には継続して取り組む必要がある。今後、教員が児童生徒と向き合う時間の確保にどう取り組むのか伺う。

A H26年度に策定したプランにより3カ年計画で集中的に教職員の負担低減に取り組み、調査・照会文書等の対H24年度比40%縮減や、インターネットバンキングを活用する学校の拡大などの実績が得られている。また、今年度より校長会等の代表によるワーキングチームを新設し、教職員自らの改善による業務の効率化にも取組を進めてる。本プランは今年度で終了となるが、現在、現状を把握するための全教職員アンケート調査を実施しており、今後この調査結果への対策や、ICTの活用を推進し、児童生徒と向き合う時間の確保に全力で取り組む。

6月議会一般質問登壇予定者

福田智恵・中塚英範

担当する常任委員会が変わります。市政に関するご意見、ご要望は私たちにお寄せ下さい!

掲載項目

名前/①当選期数/②会派の役職/③所属委員会・会議
④連絡先/⑤メールアドレス/⑥ホームページ



いまい やすお
今井 恭男

①8期 ②会長
③総務常任委員会
都市計画審議会
後期高齢者医療広域審議会
④宇都宮市下栗町718-3
TEL. 656-3841
FAX. 656-4106
⑤y-imai@gem.hi-ho.ne.jp
⑥http://www.hi-ho.ne.jp/y-imai/Top.html



やまもと まさと
山本 正人

①8期 ②副会長
③環境経済常任委員会
監査委員
④宇都宮市江曾島町102-4
TEL. 678-6025
FAX. 678-6025
⑤ysbshanghai@yahoo.co.jp
⑥http://www.yamamoto-m.com



こまば あきお
駒場 昭夫

①3期 ②幹事長
③建設常任委員会
スポーツ文化振興調査特別委員会(副委員長)
議会運営委員会
環境審議会
④宇都宮市下川俣町5-2
TEL. 661-7343
FAX. 661-7343
⑤a.komaba@mx10.ttcn.ne.jp



ふくだ ちえ
福田 智恵

①3期 ②政調会長
③厚生常任委員会
広報広聴委員会
市街地開発組合協議会議員
社会福祉審議会
④宇都宮市六道町12-38
TEL. 636-2582
FAX. 636-2559
⑤info@f-chie.jp
⑥http://www.f-chie.jp



こだいら みちお
小平 美智雄

①2期 ②会計
③文教消防水道常任委員会【副委員長】
中央卸売市場運営協議会
総合計画審議会
④宇都宮市鶴岡町405-38
TEL. 305-4269
FAX. 305-4269
⑤kodaira.m@nifty.com



なかつか ひでのり
中塚 英範

①1期
③環境経済常任委員会【委員長】
議会運営委員会
広報広聴委員会
廃棄物減量等推進審議会
国民健康保険運営協議会
④宇都宮市高砂町25-15-203
TEL. 653-5151
FAX. 636-1017
⑤info@hide-nakatsuka.com
⑥http://hide-nakatsuka.com

さらに議会情報をご覧になりたい方は、宇都宮市議会ホームページまでアクセスして下さい。

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/gikai/>